

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/4現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ダイワ・インド株ファンド・証券投資信託
組成会社（運用会社）	大和アセットマネジメント株式会社
販売委託元	大和アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方を想定しております。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 投資対象は、すべてインドの企業ですか？
 - ② インドと他の新興国では、大きな違いがありますか？
 - ③ インドの代表的な株式指数は何ですか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<株式市場リスク> 株価の下落は基準価額の下落要因となります。
	<信用リスク> 債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因となります。
	<為替変動リスク> 円高は基準価額の下落要因となります。
	<カントリーリスク> 投資国の政治・経済等の不安定化は基準価額の下落要因となります。
	<市場流動性リスク> 市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件下での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因となります。
過去1年間の収益率	27.6%（2023年6月末現在）
過去5年間の収益率	平均11.0% 最高 73.9%（2021年3月）最低 -31.8%（2020年3月） （2018年7月～2023年6月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の7ページから9ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページから11ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- （質問）
- ④ 純資産額が増えてくると、リスクに影響はありますか？
 - ⑤ ベンチマークとは、どのようなものですか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	3.30%	2.31%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬：年1.848%	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載していません。

- （質問） ⑥ 他の商品と比べて、信託報酬が高いのはなぜですか？
⑦ 他の商品と比べて、購入手数料が高いのはなぜですか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限は2050年6月7日です。ただし、償還延長や繰上償還を行う場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料・信託財産留保額ははありません。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載しています。

- （質問） ⑧ 中途換金をした場合、何日目に資金を受け取れますか？

5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社等から年率0.88%の手数料を頂きます。これは運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および購入後の情報提供対価です。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL）<https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ 手数料や販売額の内部的な目標はありますか？

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の15ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
(URL②) https://www.daiwa-am.co.jp/funds/detail/3101/detail_top.html
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡します。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

ダイワ・インド株ファンド・証券投資信託

	<質問>	<回答例>
①	投資対象は、すべてインドの企業ですか？	インド企業の発行する株式、及び海外で発行する預託証券(DR)が全体の95%程度であり、その他短期金融資産を含みます。
②	インドと他の新興国では、大きな違いがありますか？	インドと他の新興国では、経済的なファンダメンタルは異なりますが、国際分散投資が進んでいるため、新興国株式市場の運用成果としては比較的近似したトレンドを示すことも少なくありません。
③	インドの代表的な株式指数は何ですか？	インドSENSEXです。ボンベイ証券取引所(BSE : Bombay Stock Exchange)に上場している主要30銘柄で構成される時価総額加重平均の株価指数です。
④	純資産額が増えてくると、リスクに影響はありますか？	純資産額が増えてくると、運用対象に広がりができることはメリットですが、一方で市場の下落局面で評価損失が生じる銘柄を抱えるリスクが増加する懸念はあります。
⑤	ベンチマークとは、どのようなものですか？	本商品が、価格変動の基準とする指標です。完全にこれに連動させるものではありませんが、相場の上昇・下落局面での運用成果の一つの基準となります。
⑥	他の商品と比べて、信託報酬が高いのはなぜですか？	インドという新興国市場に特化した運用と管理を行なうため、他の商品と比較してやや高い信託報酬の料率となっております。
⑦	他の商品と比べて、購入手数料が高いのはなぜですか？	インドという新興国市場に特化した商品にはより充実した説明態勢を要することから、他の商品と比較してやや高い販売手数料率となっております。
⑧	中途換金をした場合、何日目に資金を受け取れますか？	本商品については、換金のお申込みを頂いた日を含めて、6営業日目に口座に入金されます。
⑨	手数料や販売額の内部的な目標はありますか？	現在、手数料や販売額の内部目標は設定しておりません。お客様のニーズに幅広く対応していくことを、第一の目標として活動しております。